

製品名: MUC16 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86649

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:1519 kDa; Observed MW:1519 kDa

抗原情報

遺伝子名	MUC16
別名	CA125
遺伝子 ID	94025
SwissProt ID	Q8WXI7
免疫原	ヒト MUC16 の合成ペプチド

背景

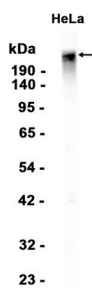
この遺伝子は、ムチンファミリーに属するタンパク質をコードしています。ムチンは高分子量の O-グリコシル化タンパク質であり、

粘液バリアの形成に重要な役割を果たし、上皮の頂端表面に存在します。コードされているタンパク質は膜結合型ムチンで、アミノ末端に細胞外ドメイン、大きなタンデムリピートドメイン、そして短い細胞質ドメインを含む膜貫通ドメインを有しています。アミノ末端は高度にグリコシル化されており、リピート領域にはセリン、スレオニン、プロリンを多く含む 156 個のアミノ酸リピートユニットが含まれています。リピート内には、ウニ精子タンパク質エンテロキナーゼおよびアグリリン (SEA) モジュール、ロイシンリッチリピート、アンキリン (ANK) リピートが散在しています。これらの領域は細胞外ドメインを形成し、膜貫通ドメインに近い SEA モジュール付近に切断部位となる可能性のある部位が存在します。このタンパク質はバリアを形成し、上皮細胞を病原体から保護する役割を果たしていると考えられています。この遺伝子産物は様々な癌のマーカーとして用いられており、発現レベルが高いほど予後不良と関連しています。[RefSeq 提供、2017 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



MUC16 ウサギモノクローナル抗体を 1:100 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。